

2016 vol.46

UR

UR都市機構の情報誌 [ユーアールプレス]

P R E S S

特集 団地の未来



「団地再生」から「未来のかたち」へ

佐藤可士和さんインタビュー

「集まって住む」その力が未来を開く鍵になる



Special Interview

日本の美しさ、
人の優しさを歌に乗せ
僕はここで生きていく

歌手

クリス・ハート さん



01 まちの記憶 ⑨ 「町を変える力」 角田光代

03 Special Interview 未来を照らす ⑨

クリス・ハート

さん 歌手

日本の美しさ、人の優しさを歌に乗せ僕はここで生きていく



07

特集 団地の未来 「団地再生」から「未来のかたち」へ

09 洋光台団地 横浜市磯子区

「人」と「空間」を生かして団地の価値を再発見する

11 団地の未来インタビュー

「集まって住む」その力が未来を開く鍵になる

佐藤可士和

さん クリエイティブディレクター



15 白鷺団地 堺市東区

夢追う若者に無償で部屋貸します!

17 日の里団地 福岡県宗像市

団地に農場が誕生。地域の人々が集う拠点に!

19 URのまちづくり最前線①

防災公園+防災拠点が一体化した新しい施設をつくる 東京都三鷹市

21 URのまち あのまち・このまち・歩いてみよう! その⑦

恵比寿ガーデンプレイス周辺(東京都渋谷区)

23 ベランダ菜園の楽しみ④ たなかやすこ

寄せ植えで楽しむミニカリフラワー

24 シンプルライフのススメ① やまぐちせいこ

色小物・雑貨を減らして、部屋がすっきり。家族のケンカも減りました!

24 男子弁当のススメ!① 相田幸二

郷土の味! あぶら麩弁当



25 復興の「今」を見に来て!⑦ 岩手県釜石市

漁師まちの暮らしに合った復興を早期に実現

29 平成28年熊本地震復旧支援レポート

専門知識と技術を生かした迅速な連携プレーで復旧をサポート

31 プレゼント付きクロスワードパズル

32 UR INFORMATION

季刊「UR PRESS」Vol.46

2016年7月31日発行

発行 独立行政法人都市再生機構

〒231-8315

神奈川県横浜市中区本町6-50-1 横浜アイランドタワー

Tel 045-650-0882 Fax 045-650-0889

制作 日本経済社

編集協力 新潮社、編集室りっか

デザイン 太田デザイン事務所

印刷 凸版印刷

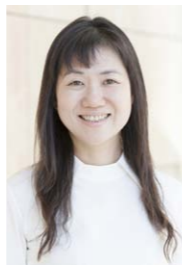
*本誌掲載の記事、写真、イラスト等の無断転載を禁じます。

*本文中の肩書きは取材時のものです。

表紙の世界

コミュニティの中でのイベントなどで、いつもはすれ違うだけのご近所さんと会話が生まれる。それがきっかけで新たに知ることがあったり、生活に楽しいことが増えたら、とても素敵だと思います。

イラストレーション・小林マキ



かくた・みつよ

作家。1967年、神奈川県生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。1990年「幸福な遊戯」で海燕新人文学賞を受賞しデビュー。「対岸の彼女」(文藝春秋)での直木賞をはじめ著書・受賞多数。最新刊は『わたしの容れもの』(幻冬舎)。



まちの記憶 9 町を変える力

角田光代

私の住む町には、

戦前からある長屋式建物の並ぶ一角がある。私がこの町に引っ越してきた二十五年ほど前

は、その一角にはちよっとさびれたスナックが数軒あり、あとは閉店したままの店が多かった。ところが十数年前に一転した。あたらしい飲食店が次々とオープンし、活気ある飲み屋横丁に変身した。間口のちいさな、肩を並べるようなその飲食店にいつてみると、どの店もそれぞれ趣向を凝らしていて、お洒落で、驚いた。

この長屋式建物のひとつひとつの店内も狭く、トイレのない店が多い。だからこの一角には公衆トイレがある。そんな場所だから、駅前なのに家賃はさほど高くないのだろう。閉店していた店を若い人たちが借りて、思い思いのお店をオープンしたようだった。彼らの新鮮な発想で、間口の狭さや入り口の狭さ、トイレのなさなんかも、あたらしい魅力になっていて、感心したことを覚えている。以来、私もよくこの界限に飲みに行くようになった。この路地のなかの店で飲んでみると、未だに、旅しているようなちよっとわくわくした気持ちになる。

七年ほど前、

ベルリンを旅する機会があった。いちばんわくわくした場所がミッテ地区と呼ばれる一角だった。旧東ベルリンに属していた一角だという。開発が遅れたために、古い建物が多く残っているのだが、なんだか妙にお洒落なのだ。ガイドブックを読んでその理由はすぐにわかった。家賃の安いそうした建物を若い人たちが借りて、カフェやギャラリーやショップをはじめたのだという。多いのは「ホーフ」と呼ばれる場所。ホーフとは中庭を意味する言葉だという。中庭を囲むようにして建つ建物内の一部屋一部屋が、お洒落な店となっている。洋服店、雑貨店、カフェ、アクセサリーショップ、不思議なおブジェを並べたギャラリー等々。

団地に似ている。

中庭を囲んで、真四角の古い建物が並んでいる。ひとつひとつの部屋がそれぞれ改装されて、お店になっている感じ。玄関ドアが開け放たれたところもあれば、閉まっているところ

もある。やはり住宅みたいで、最初はドアを開けたり足を踏み入れたりするのに、勇気がある。訪れる客のあとについて入っていくと、だんだん慣れてくる。部屋ごとに雰囲気があるで違っていて、買いたいものをせずつも、歩いているだけでたのしかった。ミッテ地区を歩きながら、私は自分の住んでいる町を思い出していた。あの、変身した飲み屋街だ。壊したり、あたらしくしたりするのではなくて、従来あるものをそのままに、町を変えることができるのは、たいいていの場合、若い人たちだ。経済や発展とはまた違ったものを目指している、若い人たちの力だ。そんなふう



「日本の美しさ、人の優しさを歌に乗せ

僕はここで生きていく

クリス・ハート

さん 歌手

アメリカで聴いたJ-POPに魅せられ、日本を大好きになった少年が、日本のテレビ番組で優勝して歌手デビュー。まさに男性版シンデレラストーリーを体現したクリス・ハートさん。誰よりも日本を愛し、日本人のハートを魅了するその歌声には「自分の歌が誰かの力になれば」という強い想いが込められている。

中学生のときから 憧れ続けた日本

アメリカのサンフランシスコで生まれ育ち、2009年から日本に住んで7年がたちました。日本に興味をもったのは、中学生のときにたまたま日本語のクラスに参加してから。その後、日本人コミュニティ向けのテレビ番組で日本の音楽などを聴いて、日本という国が大好きになりました。運命のような感じですか(笑)。

13歳のとき、茨城県の新治村(現土浦市)に2週間のホームステイもしました。おじいさんとお父さん、お母さん、僕と同年

代の男の子のいる家庭で、みんな朝ごはんを食べて、学校のことなどいろいろ話すんです。家族がひとつにつながっていて、家族のために頑張るといふ一体感がすごくよかったです。日本人の優しさや日本の美しさを自分の目で見て、アメリカに帰っても「もっと日本のことを知りたい、早く日本に帰りたい」と思うようになりました。それからの10年は、バンド活動をしながら日本語の歌詞を勉強したり、日本語を使える仕事を探したりしていました。

生まれ変わったような感じで、できる限り日本人と同じ生活をしようと思って、毎日、日本語だけで生活しました。最初に住んだのは東京の下町の人形町です。商店街があって、皆さんあったかくて優しく、下町にしてすごくよかったですね。住んでみて、自分も日本人みたいに優しくなりたいとか、もっと相手の気持ちを考えていとか、真似したいことや知りたいことがいっぱいあって、日本のことがさら



ステージでは伸びやかな温かい歌声で観客を包み込む

に好きになりました。その頃は、日本に住むだけで十分だと思っていて、歌手になりたい気持ちはありませんでした。両親とも音楽が好きだった

し、僕も好きだったけど、セントアステージに立つのは恥ずかしいし(笑)、後ろのバックコーラスならいいかなと思っていたくらい。いまでも、たまに恥ずかしいです(笑)。

妻との出会いが、 歌手になるきっかけに

妻に出会ったのは、その頃です。お互い音楽の練習のためにユーチューブに動画をアップしていたんですが、妻が「コラボ動画を作りましょう」と連絡をくれたんです。

僕はその頃、仕事で全国を回っていたので、彼女の住む大阪に仕事で行ったときに会って、動画を作ろうという話になりました。そして、会ったとたん「この人は特別な人。この人となら、どんな大変なことがあっても一緒に成長していける」と思いました。運命の出会いでしたね。

3日後に付き合い始めて、2週間後にはプロポーズをしました。妻と出会ってから、すべてが変わってきました。彼女が東京に引っ越してくる前、銀座でデパートをしていたら、たまたまテ

レビ局のスタッフから「二人の出会いを知りたい」と声をかけられたんです。そして番組で歌を歌ったら、そこからまた次の番組出演へとつながって、2012年3月にテレビの「のどじまんザ!ワールド」で優勝した



まんなザ!ワールド」で優勝したんです。それがデビューのきっかけになりました。それにもエピソードがあつて、2回目の出演の前、何を歌おうかと悩んでいたら、妻が「あなたには木山裕策さんの『home』が合ってるよ」とアドバイス

ました。家族をテーマにした曲では、子どもが生まれる前は「自分の家族ならこうなるかな」と想像して歌っていました。いまは感情がよりリアルになりましたね。

僕は小さい頃から誰かの力になりたいと思ってきましたが、

音楽にも人の力になれるチャンスがあるとと思っています。去年、こんなことがありました。ライブの後の握手会に、ある女性が参加してくれて「3カ月前に娘が亡くなって、つらくて家から出られなかった。初めて外出したこのコンサートで『いのち My song for you』を聴いて、また頑張れる気持ちになりました」と言ってくれたんです。

僕も来日する前に、ずっと応援してくれていた祖母を突然の病気で亡くした経験があります。歌手になる前は、そうしたつらさや悲しさを人前で出すのは、恥ずかしいことだと隠していました。でも、いまは同じような経験をしたらこそ、恥ずかしさを乗り越えて自分の気持ちを100パーセント見せて、「僕にも同じような経験があるよ」「二人じゃないんだよ」と歌を通して伝えられると思ったんです。

いま、日本への帰化の申請をしています。日本で生活して、自分も皆さんと同じ生活をして、同じ責任を持ちたい、と思うようになったからです。日本人になれば、日本人が大切にしている文化やまち、コミュニティーもよりわかるだろうし、もっといい仕事ができるように思います。そして、歌を通して、日本のよさをもっともつと紹介できればと思っています。



クリス・ハート
1984年アメリカ・サンフランシスコ生まれ。両親がミュージシャンだったこともあり、幼少の頃から音楽に親しむ。13歳のときに日本にホームステイ。その後、日本語を独学し、2009年来日。自動販売機の営業の仕事しながら、2012年にテレビ「のどじまん ザ! ワールド」に出演。見事優勝を飾り、2013年5月「home」でデビュー。カバーアルバムやオリジナル曲をリリースし、NHK紅白歌合戦に2年連続出場を果たす。この夏は「情熱大陸SPECIAL LIVE SUMMER TIME BONANZA '16」に出演。10月から「第2回47都道府県ツアー ~my hometown~」がスタートする。

クリス・ハート
1984年アメリカ・サンフランシスコ生まれ。両親がミュージシャンだったこともあり、幼少の頃から音楽に親しむ。13歳のときに日本にホームステイ。その後、日本語を独学し、2009年来日。自動販売機の営業の仕事しながら、2012年にテレビ「のどじまん ザ! ワールド」に出演。見事優勝を飾り、2013年5月「home」でデビュー。カバーアルバムやオリジナル曲をリリースし、NHK紅白歌合戦に2年連続出場を果たす。この夏は「情熱大陸SPECIAL LIVE SUMMER TIME BONANZA '16」に出演。10月から「第2回47都道府県ツアー ~my hometown~」がスタートする。

「二人じゃないんだよ」と歌を通して伝えられると思ったんです。デビューしてからたくさんファンの皆さんから手紙をいただきましたが、そのなかにはうれしくて楽しい経験のほかに、つらくて悲しい経験も書かれて

るって。その気持ちを込めて歌ったらとても反応がよくて、結局、その曲がデビュー曲になりました。日本の歌はアメリカの音楽と違って、すごく歌詞が大事なんですね。アメリカで日本語の歌詞を書いたこともありましたが、どんなにきれいな言葉を選んで、うまく伝わらないところがありました。日本に住むようになって、言葉やメロディだけじゃなく、その奥にある文化を勉強しないとうまく歌えないとわかりました。

人の気持ちに寄り添う セラピーのような歌を

これはきっと、一生の勉強になると思います。

「UR PRESS」オンライン版で、パソコンやスマートフォンからクリス・ハートさんのインタビュー動画がご覧いただけます。(2016年10月末まで)



団地の未来

「団地再生」から「未来のかたち」へ

日本の高度成長期に大量供給され、築40～50年たった団地を、
次世代のためにどう生かしていくか。
集合住宅の新しい「住まい方」と地域のあり方を提示する
UR都市機構の未来へのチャレンジが始まっている。



外壁に露出していた室外機置き場をアルミ製の「木の葉パネル」で覆い(上)、外壁もリニューアル(右)。



洋光台中央団地の広場とアーケードを、立体的な空間に変身させる計画が進んでいる。



洋光台中央団地の広場に面した1階につくられた「CCラボ」。CCはCommunity Challengeの略で、月単位の長期利用が可能なロングラボと、1~7日間の短期利用向けのショートラボの2室ある。写真はショートラボを利用中の「Art寺子屋」。

「人」と「空間」を生かして 団地の価値を再発見する

洋光台団地 横浜市磯子区

昭和40年代につくられた洋光台のまちで、今、世界的な建築家・隈研吾氏やクリエイティブディレクターの佐藤可士和氏を迎え、団地を核にした画期的な地域再生の取り組みが進められている。題して「団地の未来プロジェクト」。このプロジェクトはなぜ行われ、何を指すのか。まずは洋光台団地へと足を運んでみよう。

洋光台団地を モデルケースに

駅舎を出ると駅前のロータリーを見下ろすように建つ、UR都市機構の高層集合住宅が目飛び込んでくる。洋光台のまちは、丘陵地を開発し、磯子止まりだったJR根岸線を延伸して、新しい駅を

中心につくられた。

電車の運行と洋光台団地の入居が始まったのは1970(昭和45)年。駅の周りに高層の洋光台中央、徒歩5分ほどの場所に緑豊かな洋光台北・西の3団地3350戸があり、現在約1万8000世帯が住むエリア全体の中でUR賃貸住宅の団地は大きな割合を占めている。ここは横浜からJRで約20分と交通の便がよく、駅からも近く、UR都市機構の数ある団地の中でも利便性に恵まれている。しかし、それでも老朽化や時代に合わなくなった部分があり、少子高齢化の進行や商店街の活性化など、全国の団地が抱える問題は洋光台にも現れている。

「そこで団地の再生と活性化をはかるために2011(平成23)年にスタートさせたのが、『ルネッサンスin洋光台』です。全国に先駆けたモデルケースとして、UR都市機構が培ってきたノウハウを集めて取り組みました」

そう語るのはUR都市機構の東日本賃貸住宅本部洋光台団地マネージャー尾神充倫だ。ルネッサンスin洋光台では隈研吾氏や佐藤可士和氏、社会学者の上野千鶴子氏

コンの室外機には特製の「木の葉パネル」があしらわれていた。微妙に色合いの異なるパネルがランダムに配置されていて、味気なくなりがちな外壁に、温かみを加えている。

目指すはプロジェクトの 全国展開

昨年春には、取り組みをさらに深化させ具体的な形にしていこうと、隈氏と佐藤氏をあらためて迎えて「団地の未来プロジェクト」が始動した。このプロジェクトのもと、ワークショップの提言を受けて隈氏がプランニングした洋光台中央団地広場の新しいアーケード建設などに向けた準備が進行中。また、「集まって住む未来」をテーマに募集した洋光台北団地集会所リニューアルのアイデアコンペには148件もの応募があり、そ

など6名の有識者からなる「アドバイザー会議」を設置し、5回にわたる集まりで、団地が抱える課題について意見を交換し、さまざまな提言を行った。成果は「団地のゆるさが都市を変える。」という本にまとめられ、その後の取り組みに生かされている。

一方で、地域住民とまちづくりの有識者や行政担当者による「エリア会議」も設け、地域住民主体のワークショップは、ほぼ月に1度のペースで開催された。多い時には100人、少ない時でも30人が参加したこのワークショップでは「駅前の活性化」と「多世代間交流・コミュニティの活性化」について具体的な方策を話し合った。

いまある 「資源」を生かす

「こうした中で見えてきたのは、ここには有効な資源があるということでした。それは『人』と『空



洋光台団地マネージャーとして一連のプロジェクトを推進する尾神充倫。

の結果も今年6月に発表された。さらに防災の新しい形を考えるワークショップをはじめ、CCラボの拡充、カーシェア、映画などの撮影を誘致するフィルムコミッション、佐藤氏と多彩な人材との対談など、8つの取り組みが進行中だ。

昭和40年代から50年代初めにつくられた団地を、UR都市機構はメインストックと呼び、その数は48万戸に及ぶ。ルネッサンスin洋光台から団地の未来プロジェクトへと続く取り組みは、築40年を過ぎたこれらの団地が抱える問題にどう対処し、団地というストックをどう活用していくか、未来を拓く道を探る壮大な試み。団地にとどまらず地域と連携し、団地を核とした地域活性化につながるビジョンを持っていることも画期的だ。「このプロジェクトは、この団地が50周年を迎える2020年、東京オリンピックが開かれる年でもありますが、そこをひとつの目途と考えています。ぜひ成功させて、全国に広げていきたい」

尾神の言葉が、この試みに託したUR都市機構の意気込みをもの語っている。

間」です」

そこで、「人」という資源を掘る場が設けられた。それが洋光台中央団地1階にできた「CCラボ」。コミュニティ活動に使えるおしゃれなこのスペースは、工芸体験やコミュニティカフェなど多彩な活動のベースとなっており、稼働率は90%以上。利用者による会議も開かれ、コミュニティ活性化の話し合いの場としても機能している。さらにグループ間の連携を図り、地域と交流するためにハロウィンなどビッグイベントも実施。地域の行事への参加や「まちづくりワークショップ」の開催など活動は活発だ。

「空間」という資源、つまり団地については、その魅力の向上を図り、時代に合わなくなった部分には新たな価値を与えて、新しい住まい方や地域のあり方を示していくことが再生の鍵。

「すでに洋光台中央団地では隈さんのダイレクションで外装に手を加えています」

尾神の説明に高層団地を見上げれば、外壁にアクセントとして縦ストライプの模様が描かれ、エア



建築アイデアコンペが行われた洋光台北団地集会所の現状。リニューアル後は、多世代交流のためのコミュニティ拠点となることが期待されている。



建築家の隈研吾さんと洋光台団地を歩く佐藤さん。40年の時を経た団地の良さが見えてきた。

団地の最上階、5階に住んでいる友達が出て、「風通しがいいから、うちはエアコンいらさないんだ」というのも驚きでしたし、眺めもよくて、としまえんの火花がとてもよく見えました。団地には商店街も公園もあって、それこそ毎日のように行って遊んでいました。その頃の団地は子どもでいっぱいだった。

正直なところ「えっ、団地ですか」と驚きました。ただ、子どもの頃から団地を身近に感じていて、記憶の中に団地の姿はしっかりありましたし、最初は6人のアドバイザー会議の1人としての参加でしたから意見もいやすく、自然に加わって自由に考えを広げることが感じですね。それに続く「団地

まず前提として、隈さんと僕がこのプロジェクトを担っていることの意味は、それぞれの専門的な分野、つまり建築的なアプローチとプランニングという手法、ハードとソフト双方が融合したところで、何か新しいことができないかという点にあると思います。そもそも今回の取り組み自体が、時代にそぐわなくなった部分を見つ

子ども時代の団地はキラキラ輝いていた

最初は「ルネッサンスin洋光台」のアドバイザー会議の一員として、昨年からは隈研吾さんとともに「団地の未来プロジェクト」のディレクターを務める佐藤可士和さん。佐藤さんと団地の関わりは、子ども時代にさかのぼる。団地は子ども心をワクワクさせる、楽しい思い出に満ちた存在だった。

子どものときは東京の練馬区に住んでいましたが、小学校低学年の頃、近所に団地ができて、建設の過程から見ました。何もない場所に、今まで見たこともないものが建っていく。とても新しいものに感じましたね。

うちは一戸建ての平屋でしたが、



アドバイザー会議は、佐藤さん、隈さんのほか、社会学者の上野千鶴子さん、東京大学教授の大月敏雄さん、千葉大学教授の広井良典さん、横浜市の信時正人さんの6名で構成された。

った記憶があります。

そんな佐藤さんも高校進学以降は団地に足を踏み入れることはなくなり、仕事でも団地とは無縁の日々。旧知の建築家・隈研吾さんから突然「団地、やらない？」とルネッサンスin洋光台のメンバーに誘われたときは、どのように感じたのだろうか。

団地の魅力を再発見し世の中に提示する

かつて団地は、寝食分離や鍵一つでプライバシーが守れる生活といった、新しい時代のライフスタイルを創り出す存在だった。しかし、時間の経過とともに環境や社会のあり方も劇的に変化し、時代にそぐわない部分がさまざま出てきている。いかにこれらに対応して団地を再生していくかという大きな課題に、佐藤さんはどのような方向性を見ているのだろうか。



「集まって住む」その力が未来を開く鍵になる

団地の未来インタビュー

佐藤可士和さん
クリエイティブディレクター



洋光台団地をモデルケースに始まった「団地の未来プロジェクト」。

そのキーマンである佐藤可士和さんに、このプロジェクトの目的や、実際に進めていくなかで感じている可能性などを伺った。

さとうかしわ
1965年東京生まれ。
多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。
博報堂を経て2000年に独立。
クリエイティブスタジオ「サムライ」設立。
ブランド戦略のトータルプロデューサーとして活躍。
その仕事は多方面から高い評価を得ている。
主な仕事にユニクロや楽天グループのグローバルブランド戦略。
国立新美術館のシンボルマークデザインとサイン計画、
カップヌードルミュージアムの
トータルプロデュースなどがある。



め直して、その課題を見つけながらできたので、スムーズにスタートできてよかったと思っています。今の時代のアイデアを注いで価値を再定義していくものです。アドバイザー会議でもこの視点からいろいろな提言をしました。

ブランディングの際に大切なことは、マイナス部分を埋めていくのではなく、いいところを見つけ伸ばしていくことです。本質的に価値のある部分、「団地の魅力」といえるものを再発見して世の中に提示していく。それも戦略的に考えながら情報を発信していく、望ましいイメージを形づくっていくことが必要です。

アドバイザー会議に加わるにあたって隈さんと洋光台団地を歩い

るところに「ゆるさ」があり、40年の時間を経て出てきた「温かみ」もある。これをいかに強みに変えていくかが、ポイントになるのではないのでしょうか。

一方、ソフトの面から団地の価値や魅力を考えたときに浮かび上がってきたのは、団地に住む一番の良さ、プラスになる部分は「集まって住むパワー」にあるのではないかと、ということでした。戸建てはもちろんマンションでも、団地ほどの規模のものはありません。集まって住むからこそ生まれる、団地の良さ、楽しさ。それを最大化していくことが、団地の未来につながると思っています。現在は、それをいかにビジュアライズしていくかが課題ですね。

てみて、空間の豊かさとか緑の多さとか、いまだに色褪せない価値があると思いましたが、建築的な面で一番印象的だったのは、いい意味での「ゆるさ」でした。全部きっちり揃えずに少し違って住棟の向きとか、敷地の起伏、目的がよく

取り組みを、目に見えるかたちで発信

ビジュアライズとは、具体的な取り組みとして進め、目に見えるかたちにしていくこと。団地の未来プロジェクトでは複数のプログラムを立ち上げて取り組んでいる。例えば集まって住む団地ならではの存在に、集会所があります。プログラムの一つとして、先日「集まって住む未来」をテーマに北集会所の再整備プランのコンペを行いました。148作品もの応募があり、みなさん実に真剣に考えてくださっていて、それだけでも素晴らしい成果だと思います。

今回は選にもれても、いずれ他の団地でこういう試みがあればまた参加し、ここで学んだことをブラッシュアップしていい答えが出るかもしれないですね。このコンペ自体がかなりの話題になり、団地が抱える課題と「団地の未来プロジェクト」という取り組みを世の中に伝えることもできました。

また、プロジェクトを始めたときからフィルムコミッションというアイデアを持っていましたが、

彩な知恵を集めるために、プロジェクト自体をオープンにして、僕自身も防災の専門家やジャーナリストの方々と意見交換し、内容もウェブで公開しています。

もちろん一つひとつのプログラムが実際に洋光台団地のコミュニティで活用化につながればということはありませんが、すぐに結果が出なくても、それはそれで意味があると考えています。洋光台団地の再生だけが最終目的ではなく、さまざまなスタディーを行って、いいソリューションを試行錯誤していくための「プロジェクト」なのです。

「集まって住む」コミュニティ可能性を感じて

洋光台団地に留めることなく、いずれここをモデルケースとして全国の団地に広げていくためのプロジェクト。「洋光台プロジェクト」とせずに「団地の未来プロジェクト」としたのも、社会的な取り組みだと考えてのことだと佐藤氏はいう。

団地ごとに条件は違いますから、それぞれに合った形を工夫して、

昨年偶然にも東宝さんから『シン・ゴジラ』のロケの話が舞い込んで、実現しました。団地を映画やドラマの撮影に使ってもらおうことで、話題になり認知もされます。それも戦略のひとつで、海外の賞を取るような映画の舞台になって、グローバルな情報発信ができれば最高ですね。

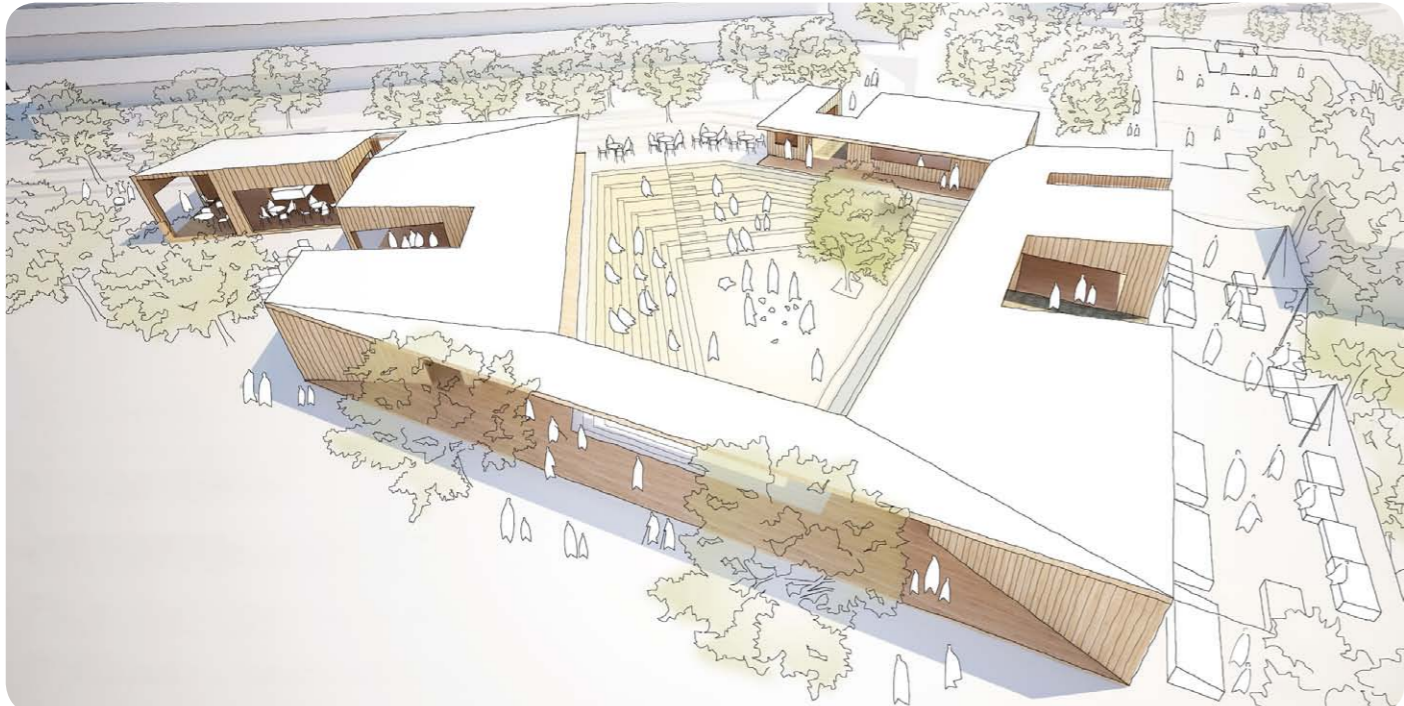
先ほどブランディングする際の情報発信について触れましたが、世の中に伝わっているかどうかはとても重要です。僕はこれを「伝わっていないのは、存在してないことと同じ」といつていますが、伝わらなければ、物理的には存在しても、意識からは消えて忘れ去られてしまいます。まず関心を集めて伝えること。そして団地というものに対するみんなのイメージを豊かにしていくことが大切です。

その上で、集会所を作り直す、映画の撮影を誘致する、防災イベントを実施するなどといったプログラムを展開すれば、居住者はもちろん外からもいろいろな人が参加してくれるようになります。多様な価値観が出合い、新しいものも生まれやすくなり、さまざまなアイデアも出てくるでしょう。多

洋光台から他の多くの団地へ、さらには日本の「住まい方」に一石を投じたいですね。洋光台での取り組みは2020年を目途にしていますが、参考事例となるような成果を出していきたいですね。

このプロジェクトで掲げている「集まって住む」ことは、大きな可能性を秘めていると僕は思っています。今、日本は人口が減っていく局面にありますし、IT化が進んで個々の間の物理的距離が遠くなっています。

だからこそSNSのような「個」と「社会」がつながる仕組みにみんな惹きつけられるわけですが、今後は物理的に人が集まること求められるようになるのでは、と感じています。プライバシーも守りたいけれど、人にはやはり集まりたい、人とつながってみたいという確かな欲求があります。そういった意味でも、「集まって住む」パワーのある団地の未来は、きっと面白くなると思いますよ。



上/団地の未来プロジェクト建築アイデアコンペティション(北集会所)で最優秀賞を受賞した長野憲太郎、王翠君の作品「OPEN RING」。テーマは新しい人々の共有の輪だ。今後、実施設計を行い、工事に着手する予定。

左/団地の未来プロジェクトの取り組みの1つに「フィルムコミッション」がある。映画やドラマなどの撮影を誘致し、認知度向上や話題化を図るのが目的だ。さっそく東宝映画「シン・ゴジラ」の撮影が洋光台団地で行われ、7月29日から全国東宝系にて公開。映画の中の団地のシーンは話題を呼ぶことだろう。

●「シン・ゴジラ」 脚本・総監督：庵野秀明 監督・特技監督：樋口真嗣 准監督・特技統括：尾上克郎 出演：長谷川博己 竹野内豊 石原さとみ ©2016 TOHO CO.,LTD 制作・配給：東宝株式会社

「UR PRESS」オンライン版で、パソコンやスマホから佐藤可士和さんのインタビュー動画がご覧いただけます。





この日のイベントは音楽だけだったが、漫画家志望の宮原さんも精力的にイベントに取り組んでいる。6月19日には単独イベントを実施。作品展示やライブイベントに加え、うちわ作りの体験が親子連れに人気を博した。



白鷺団地の静かな環境が漫画製作にいいという宮原さん。ハンモックを購入するなど、初めての一人暮らしも楽しんでいる。朝、団地を散歩するのが好きで、ツボにはまるスポットを見つけてブログで発信している。

漫画家を目指す宮原さんによる作品展示や似顔絵描き、ライブペイントなども行ってきた。今後は、漫画作品がどうやって描かれるかを見せるイベントや、ギター講習を通じて音楽好き・楽器好きの居住者の交流にもつなげていこうと、プランをあたため



夢追う若者に無償で部屋貸します!

白鷺団地 堺市東区

築50年、戸数1421の白鷺団地で、若者に住戸を提供して団地再生への道を開こうという試みが進められている。「ワカモノ応援プロジェクト」と銘打った、そのユニークな取り組みとは?



ライブイベントのトップを飾ったのは「あんじゅとゆかいな仲間たち」で、あんじゅさんいわく「ビジュアル系バンドへの初挑戦」。MCも堂に入ったもので、パワフルな演奏と熱唱に誰もが聴き入った。

アイドル活動を卒業して新たな飛躍のためにプロジェクトに飛び込んだあんじゅさん。ダンスや歌などのパフォーマンスを生かし、仲間たちも巻き込んで「何ができるか」を試行錯誤中だ。



団地が3人の若者の夢を応援

鋭くりズムを刻むドラムに、熱を帯びた歌声とギターの音色が絡む。夏の昼下がり、バンド演奏が繰り広げられているのは、ライブハウスならぬ白鷺団地の集会所だ。ロックやブルースバンド、弾き語りなどによるこのライブイベントは、「ワカモノ応援プロジェクト」

多世代が集う明日の団地へ

3人は4月から白鷺団地で暮らし始め、集会所でのイベントも7月で5回目。ダンスや音楽のほか、

「集会所でイベントができるのが魅力でした」(ギタリストのシヨウジ/ゼノさん)、「何かおもしろいことができそうだな、と思って」(漫画家を目指す宮原リヨウさん)と応募動機はさまざまだが、住まいへの高い評価は「きれいでおしやれで驚きました」(ダンサー、シンガーのあんじゅさん)と共通している。

の一環として行われた。

このプロジェクトは夢を追う若者に、無償で団地の住戸を1年間にわたって提供。夢の実現を応援すると同時に、団地の良さや暮らしの様子を若い世代にPRしてもらおうというものだ。「入居者の年齢を下げた団地を次の世代へつないでゆき、少しでも活性化していこうという狙いがあります」

UR都市機構の西日本支社大阪エリア経営部主査 市川洋はいう。白鷺団地の2012年時点の契約者の平均年齢は62歳。進む高齢化に抗して若い世代を呼び込もうと、昨年からは年配者が敬遠する4・5階住戸の設備や内装を一新して、現代風にするリノベーションを進めてきた。プロジェクトで提供するものも、もちろんこのリノベーション住戸だ。選ばれた若者たちは、ここでの暮らしや活動をツイッターなどSNSで週3回発信し、集会所で月に1度、何らかのイベントを行う



バンドやギター講師の活動をするシヨウジ/ゼノさん。バンドで培った企画力で、イベントの展開に意欲を燃やす。この日はソロの弾き語りに加え、ブルースバンドにも参加。



ことが条件となっている。ミュージシャンや漫画家、芸人、放送作家の卵など、予想を上回る43件もの応募があり、夢の実現への具体的なプランがあること、団地の良さを発信する手段をもっていることなどを選考ポイントとして、3名が選ばれた。

「自分の友人知人以外の客をいかに増やしていくかが課題です」とシヨウジさんはいうが、少しずつ来場者も増え、この日は団地の子どもたちや高齢の女性たちの姿が目立った。「同じ棟の5階に越してきた若い人が演奏するみたいなので、聴きにきました」「また若い人がたくさん住む団地になるといいんやけど」と、団地の女性が若者に注ぐまなざしは優しい。自治会も「団地を知ってもらいたい機会。課題はあるが、世代間の交

流の道も探っていきたい」という。リノベーション住戸は7月時点までに150戸供給され、その後も200戸が供給される予定。130戸の入居者の4割を20代30代が占め、平均年齢も42歳と若い。「実際に住んでもらえれば、世代間交流の機会も出てきます。3人の取り組みがそのきっかけになればと期待しています」(市川)



白鷺団地のリノベーションルーム。2DKを1LDKにして、開放感もたっぷり。

白鷺団地は最寄り駅から徒歩5分、大阪市内への便もいい。大きな公園に隣接し、団地内も緑豊かだ。





上/子どもたちも朝市でお手伝い。

左/「団地の農場 日の里ファーム」は、地域の子どもたちが集まる遊び場にもなっている。

右/いい株の見分け方やおすすめの食べ方など、野菜を通して会話も弾む。下/東レ建設の農業施設「トレファーム」で採用している「高床式砂栽培」は、連作障害が起きにくいので、一年を通して野菜が栽培できる。電気や水の消費量も少なくすむ。



団地に農場が誕生。地域の人々が集う拠点に!

日の里団地 福岡県宗像市

博多と小倉のほぼ中間に位置する宗像市の日の里団地。その敷地内にこの春誕生した農場が、早くも地域活性化、多世代交流の場となり、注目を集めている。



昭和40年代に建てられた日の里団地は1,500戸を超える大規模団地。使われなくなっていた広場に「団地の農場 日の里ファーム」が誕生した。



農場を支えるメンバー。右から、コミュニティ形成の活動支援を担当する日本総合住生活(JS)の平井康裕さん、グリーンファームの榊原慎也さん、東レ建設の安倍一峰さん、UR都市機構の団地マネージャー西村正則、JSの井上リツ子さんと藤本敬子さん。

6月の日曜日、日の里団地では朝9時半から朝市が開かれていた。会場は、団地内の広場に今年4月に誕生した「団地の農場 日の里ファーム」。幅8メートル、長さ33メートル、高さ4・4メートルの本格的なビニールハウスだ。ハウスの中で青々と元気いっばいに育っているのは、小松菜にチンゲン菜、ワサビ菜に水菜、ミックスレタス……。好きな株を選ん

で自分で収穫することも可能、1種類につき3株セットで100円とお得なこともあって、お客さんが次々にやって来る。「前回買ってとてもおいしかったから、また買いに来た」という日の里団地にお住まいのリピーターが多いが、友人に聞いて近隣から初めてやって来たという人も。友人同士、夫婦で、親子でと客層の年代は幅広い。

全国初の試み。誰もが参加しやすい団地内農場

UR都市機構では、多様な世代が生き生きと暮らし続ける住まい・まちづくりを目指し、さまざまな取り組みを行っているが、団地に本格的な農場をつくるのは初めて。居住者の高齢化が進むなか、その対応を危惧する宗像市や地域関係者と協力し、日の里団地を地

域医療福祉の拠点とするためのモデル事業として、「団地の農場 日の里ファーム」をスタートした。「農場をつくることで、高齢者の外出を誘い、高齢者から子どもまで一緒に活動することで、多世代交流や、生きがいづくりの場になればと考えています」とUR都市機構の団地マネージャー西村正則は語る。

農場で自然に多世代交流が実現

4月のオープン以来、農場では会員を募って種まきや苗植え、収穫体験のイベントなどを開催。「こんなに人が集まるとは思わなかった。予想以上に子どもたちもたくさん参加してくれて、自然に多世代が交流できています」とスタッフは口を揃える。



宗像市の谷井博美市長もオープニングイベントに参加。日の里ファームへの期待を語った。

高齢者や車椅子の人でも参加しやすいように、東レ建設と連携し、腰を曲げずに作業できる「高床式」の栽培方法を取り入れた。土の代わりに、水はけのよい地元の遠賀川流域の砂を使っているのも特徴。水や液肥は自動漏水のため、特別な農機具は必要なく、手軽に野菜栽培を楽しめるのも魅力だ。グリーンファームの榊原慎也さんが

平日は9〜15時まで農場を開放。自分が植えた野菜の生育を確認しに来る人、農作業の手伝いにつとめる人、学校帰りに顔を出す子どもたちなど、さまざまな人が訪れる。葉野菜は種まきから1カ月強で収穫できるため、日に日に成長する様子を見るのも来場者の楽しみになっている。



6月19日に開催された「日の里ファームオープンイベント」にはプロジェクト関係者や団地にお住まいの方など約100名が参加。



収穫テープカットや、採れたての野菜を使った料理やスムージーの試食会もあり、盛り上がった。



約2ヘクタールの敷地に、災害時には約7500人が一時避難でき、かまどベンチなど災害時に活用できる施設をもった防災公園と、災害時に災害対策拠点となる市の新施設「元気創造プラザ」。これが市役所のすぐ隣に完成する。
(2016年4月撮影) ©石黒写真研究所

三鷹中央防災公園・元気創造プラザ整備事業 東京都三鷹市 防災公園+防災拠点が一体化した 新しい施設をつくる

現在、東京都三鷹市とUR都市機構が進めている「三鷹中央防災公園・元気創造プラザ整備事業」は、市役所の隣に防災公園と市の新施設を同時につくる画期的な事業だ。

マ イクロバスから降りてきたのは、大学や大学院で建築や都市計画などを学ぶ学生たち。「三鷹中央防災公園・元気創造プラザ整備事業」の現地見学会に参加するメンバーだ。
現場はJR三鷹駅から約2キロ離れた三鷹市役所と隣接した場所。約2ヘクタールの土地に、公園と地上5階地下2階建ての建物「元気創造プラザ」の整備が進んでいる。今日は工事が完了した建物を中心に見学することになっている。

市の複数の課題を同時に解決する

ここにあった青果市場が平成19（2007）年に移転するのを機に、三鷹市ではこの跡地利用の検討が始まった。このとき三鷹市は複数の課題解決を目指した。まず、災害時に市民を守る防災機能を維持・向上させること。そして老朽化した体育館や福祉会館などの市の公共施設を

建て替え、機能を更新することだ。

実は三鷹市とUR都市機構は、前身の日本住宅公団の時代から、市内にある団地の建設や建て替え事業を通じて長い付き合いがある。良好な関係は続き、平成21年にはUR都市機構として初めて「まちづくりに関する包括協定」を三鷹市と締結した。

「さまざまな事業手法の検討を重ねたなかで、『防災公園街区整備事業』という手法を使って、市場跡地に防災公園と、市の新しい多機能複合施設をセットでつくるプランを提案しました」

こう説明するのはUR都市機構東日本都市再生本部 事業推進部多摩エリア計画チームチームリーダー稲本貴司。この事業は、主に大都市地域等の防災機能の強化を図ることが目的で、市街地整備と防災公園整備を一体的に行うまちづくり事業。UR都市機構ではこれまでこの事業を行ってきた経験があり、今回、



上/地上5階地下2階建ての「元気創造プラザ」。この建物と地下の総合スポーツセンターは省エネルギーにも配慮しており、隣接地にあるごみ処理施設で発生する熱エネルギーで発電した電力を供給。ビルエネルギー管理システム(BEMS)を導入して、空調や照明などを効率的に運用する。右/各フロアの壁に、平常時と災害時それぞれの機能を表示して市民への徹底を図る。



左/地下1階のメインアリーナに立つ稲本貴司。「三鷹市と協働し、市民の声を適切に事業に反映させることを大切にしています」

下/この日の見学会には、建築や都市緑化、都市計画などを学ぶ学生たちが参加。「ネットで見るだけではわからない。現場が見られて勉強になった」「経済性も考えられているし、市民の意見も反映されている」など関心の高さがうかがわれた。



三鷹市でもこの方法が最適だと判断した。その進め方はこうだ。まずUR都市機構が三鷹市に代わって用地を取得して防災公園を整備するとともに、敷地内に新しい施設を建設した後に、三鷹市に引き渡す。UR都市機構の強みは、事業用地の取得から、公園や建物の設計・施工までトータルで実施できる点。UR都市機構が三鷹市の代理人とでもいうべき立場で事業を行うことで、市は人的な負担も軽減できる。

三鷹市ではこの事業を決定すると、すぐに市民に情報を開示して、市民の意見を積極的に汲み取っていった。例えば新しい施設の機能はどういうものがよいか、市民検討委員会を立ち上げて意見を聞いて、計画に反映させるとともに、常に情報発信を続けている。

2つの機能を表示 地下の施設も新鮮

UR職員の案内で、学生たちと一緒に出来上がったばかりの新施設「元気創造プラザ」に入った。この複合施設の最大の特徴は、平常時と災害時とで機能が転換するところにある。それぞれの役割が、はっきりと決められているのだ。

例えば最上階の5階は、普段は総合防

災センターと生涯学習センターだが、災害時には災害対策本部、消防団指揮本部などになる。3階の福祉センターは、災害ボランティアセンター本部に変わるといふ具合で、そのことが壁などにはっきりと表示されている。「こうやって壁に両方の機能が書いてあると、ここに来た市民はその都度これを見て理解を深める。すばらしいアイデアだと思います」と学生のひとりが感想をもらす。

今回のプランで一番目を引くのは、防災公園の地下に総合スポーツセンターがつくられたところだろう。地下とはいってもドライエリアを設けてあるので上部から外光が入り、圧迫感がない。

「既存市街地内の限られた貴重な土地をうまく活用するため、防災公園の地下にスポーツ施設をつくるというアイデアが生まれました」と説明する稲本。計画当初、「市役所内にこの事業の模型やパネルを展示したところ、市民の皆さんから『早くできてほしい』『今までにない施設完成が楽しみ』といった声が寄せられました」と、手応えを感じていた。

三鷹市とUR都市機構がお互いの得意な分野で役割を分担し、意思疎通を図りながら進めてきた本事業。見学した学生からも、できあがりを見たいという声が続々だ。市民待望のオープンは、来年4月の予定だ。

UR都市機構は強力なパートナー

三鷹市長 清原慶子さん

UR都市機構と三鷹市は、まちづくりの目標を共有するパートナーです。市民の皆さんが安全で安心に暮らせるまちをつくる、訪れた人にも居心地のよいまちをつくる、こうした目標を実現するために、全国で実績を積んでいる専門家集団であるUR都市機構は、大変心強いパートナーです。

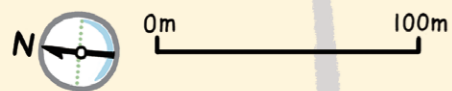
特に市役所のすぐお隣に、防災公園と、災害時に災害対策拠点となる市の施設をつくることのできることを、本当に心強く思っています。この事業に取り組んだのは東日本大震災が起こる前のことでしたが、意思決定して本当によかったと思っています。

防災公園と防災拠点が一体化した新しい施設の整備は全国の自治体からも注目されており、見学に来られる方もいらっしゃいます。市では情報をオープンにして、役立てていただくように努めています。

URのまち あこのまち 歩いてみよう! その7 渋谷区 恵比寿ガーデンプレイス周辺

URが手がけた土地が、時を経て、素敵なまちに育ちました。地図を手に歩いてみませんか?

開発前	開発期間
サッポロビール工場跡地	1988年~2000年



尋常じゃなく熱気ムンムン! 外国人も多し!
日本一の大繁盛横丁!?
恵比寿横丁
個性豊かな飲食店20店がひしめく大人気横丁



動物プロダクション兼ペットショップミュージカル「Annie」出演のワンちゃんもいます
ZOO恵比寿



人と人を歌で繋ぐ「流し文化」の復興を目論み恵比寿横丁では2009年から活動中よい出合いが多い場所です!
流しパリなかやまさん

恵比寿東公園
通称「たこ公園」



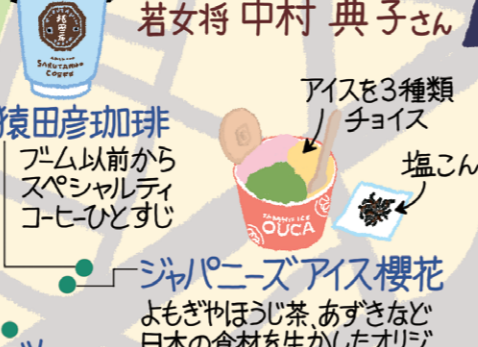
恵比寿の人々の頼れるめし処。行列の人気店
こづち



たくさんの具材をよく混ぜて食べます。味わえないおいしさ!
まぜそば「ミツ星」



親3代加計塚小、家族4人でやっているこの店は今42年目です。かつては「いなか口」と言われていた東口が、今は人であふれています!
女将 岡安久美子さん
若女将 中村典子さん



アイス3種類
アイスチョイス
塩こんぶ
猿田彦珈琲
ブーム以前からスペシャルティコーヒーとすじ



たくさんの具材をよく混ぜて食べます。味わえないおいしさ!
アト恵比寿西館
今年4月にOPEN



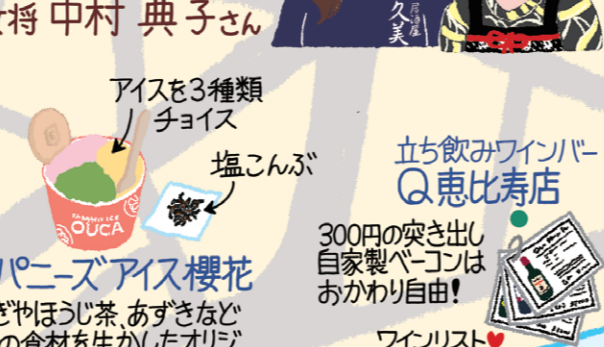
名物・白いカレーうどんはジャガイモのムースでまろやかなおいしさに
初代



ビールの名前が地名になった
住みたい街 2016 ランキング 第1位!

恵比寿クロニクル
1887 ビール工場が建設される
90 「恵比寿麦酒」発売
1901 ビール積み出し用の貨物駅開設、5年後には旅客駅も
28 初めて地名に「恵比寿」登場
88 周辺の都市化が進み工場閉鎖、再開発スタート
1994 恵比寿がデンプレイスOPEN!!

ディープな恵比寿史が聞ける
居酒屋久美



立ち飲みワインバー
恵比寿店
300円の突き出し自家製ベーコンはおかわり自由!
ワインリスト

8F 空中花園
樹齢約500年のオリーブなどプラントハンターが集めた珍しい植物がたくさん癒し空間
寝そべっているくまびす天さまを探してみよう!



名物・白いカレーうどんはジャガイモのムースでまろやかなおいしさに
喫茶銀座
ロケ使用も多い昭和レトロな喫茶店



やさしいでもクセになる味
香腸らーめん ちより

ビル仕込釜がドドン!とお出迎え
これは楽しい★
エビスツアー
約40分・500円(試飲付)
ブランドコミュニケーターが見事なトークでエビスビールの歴史やこぼれ話などをレクチャー
各種エビスが400円で楽しめる
オリジナル品だらけ★
ミュージアムショップ
初荷時に羽織った印ばんてんの復刻Tシャツ



ナポリの名店が outlet、2種類のみピザは本店と同じ味。
ダ・ミケレ
マルゲリータ



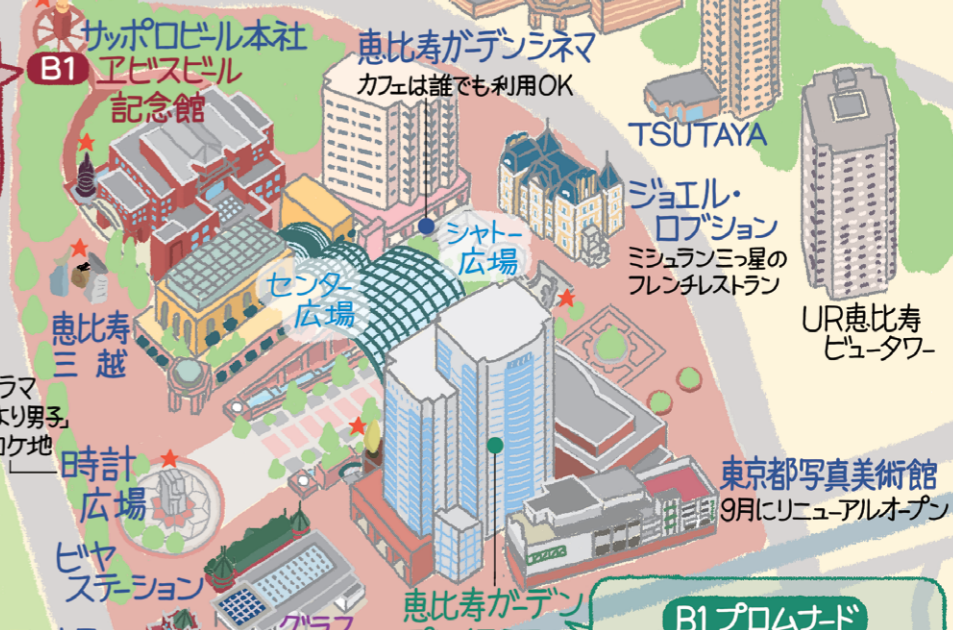
キャラメルシフォン ケーキは苦味と甘味のバランスが絶妙
マーサカフェダシロ
お店のまんなか暖炉が



恵比寿は新しいものと古いものが一体化したまち。そしてまちの人たちがみんな、マンガみたいにおもしろい! この魅力を伝えてく新聞をつくっています。
恵比寿新聞 検索
地元密着突撃取材 WEBマガジン!
恵比寿新聞編集 高橋賢次さん



水と緑がたくさん!
恵比寿がデンプレイス
今も変化しつづける 楽しい大人のまち・恵比寿のリゾート



カリフォルニアイタリアン ソルトウォーター
ミディアムレアのパテが大迫力のハンバーガー
B1
多品種ポテトフライ

フランスワイン 専門店
ラ・ヴィネ
2000円台から200万円超えまで約2万本を在庫
WINE MARKET PARTY

広場はイベント盛りだくさん!
おもにシャトー広場にて**恵比寿マルシェ**(毎日曜) 全国からこだわりのお店がたくさん出店

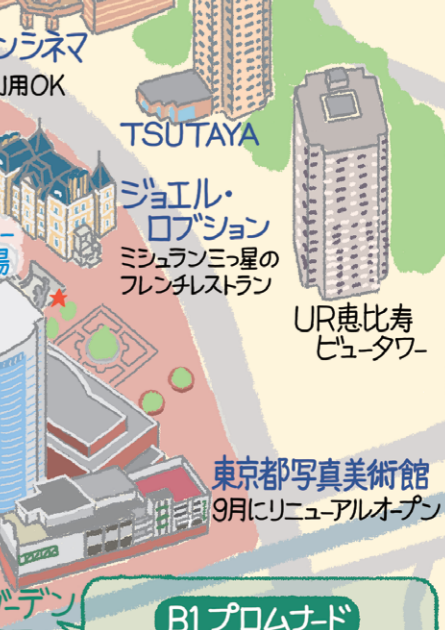
センター広場にて
春 ピーターラビットの「ハッピーガーデン」
夏 サマーテラス 屋外映画上映(無料)
秋 恵比寿文化祭 屋外ヨガ教室(無料)

一度住んだり働いたりすると、誰もがとっても気に入って離れたくなくなるのが恵比寿!
恵比寿がデンプレイス 広報担当 安田晶子さん

どんな人も思い思いにゆったりくつろいでいます

高さ8m! バカラの巨大シャンデリア などなど!

ウェスティンホテル 東京
恵比寿カードテラス 恵比寿
TSUTAYA
ジョエル・ロブション ミシュラン三つ星のフレンチレストラン
UR恵比寿 ビュータワー
東京都写真美術館 9月にリニューアルオープン

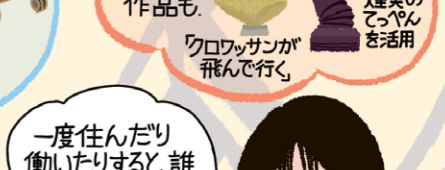


お店のソムリエ・コルクアートは必見のすばらしさ!
B1 プロムナード

もちろんワイン
ネクタイピン
食品
ワインセラー

工場の大煙突のてっぺんを活用
「クロワッサン」が飛んで行く

敷地内にアート★盛りだくさん!
全14点が点在。中にはロダン作品も。
「クロワッサン」が飛んで行く



恵比寿のあれこれ 知りたかったら.....

恵比寿のあれこれ 知りたかったら.....

少ないもので快適に暮らす“ミニマリスト”。中道ミニマリストを自称する人気ブロガー“やまさん”ことやまぐちせいこさんが、モノを減らすコツや楽しさ、そのメリットをお伝えます。

シンプルライフのススメ①

Minimalist
やまぐちせいこ

色小物・雑貨を減らして、部屋がすっきり。 家族のケンカも減りました!



以前の子ども部屋
カラフルだった子ども部屋。悪くはないのですが、色数が多過ぎて、モノが探しくいという悩みも。



「ほうきで掃除する暮らしがしたい」という願いも、モノを減らしたことで実現。時短効果もあり、4LDKの掃き&拭き掃除あわせて30分以内に終了。



現在のリビング
色の数を抑え、家の中の色は木の色・白・黒の3色を基本に。部屋の統一感が出てインテリアがスッキリとまとまりました。

やまぐちせいこ
大分県在住。夫と子ども2人の4人暮らし。著書に「少ない物ですっきり暮らす」(ワニブックス)、「無印良品とはじめるミニマリスト生活」(KADOKAWA)などがある。
ブログ「少ない物ですっきり暮らす」 <http://yamasan0521.hatenablog.com/>

夏野菜で華やかに

鶏と夏野菜のさっぱり炒め

フライパンを傾けるようにして、鶏肉と夏野菜(ナス、パプリカ、いんげんなど)をサラダ油で揚げ焼きにし、火が通ったら余分な油をふき取り、しょうゆと寿司酢を加えて全体にからめる。作り置きしておけば、味がなじみ、冷めているのでお弁当にも詰めやすい。

電子レンジで加熱したしめじに、半分に切ったプチトマト、白すりごま、しょうゆ、砂糖をあえるだけ。

夏が旬のとうもろこし。前の晩に食べるとき、一部をお弁当用にカットしておいたもの。



米 沢の田舎で育った僕は、学生の頃、お弁当があまり好きではなかった。わが家の弁当には揚げ物がなく、煮物や漬物ばかり。コロッケやエビフライなどが入っている友達のお弁当をうらやましく思ったものだ。でも今は、山菜の煮物や季節の野菜が入り、白飯に真っ赤で酸っぱい梅干しがのった、あの頃のお弁当を食べたいと思う。お弁当に郷土食や季節感を加える。これオススメ。今回は宮城の伝統食材、あぶら麩がメインです。

宮城(登米地方)の伝統食材のあぶら麩は、その名のとおり油で揚げたコクのある麩。水で戻さずにも使える。

相田幸二

1975年、山形県米沢市生まれ。現在は宮城県在住。「幸せ料理研究家」としてテレビや雑誌で活躍。「こうちゃんの簡単料理レシピ」(宝島社)シリーズは230万部を超えるダブルミリオンセラーに。ブログ「こうちゃんの簡単料理レシピ」<http://ameblo.jp/wanwan2005/>

男子弁当
の
ススメ!

郷土の味!
あぶら麩弁当



お弁当箱の話

今回はお弁当箱の代わりに保存容器を利用。汁もれの心配がなく、さまざまな色があって、代用にはもってこい。

ヘルシーだけど満腹に!

あぶら麩の甘辛卵とじ

輪切りにして水で戻したあぶら麩と、合わせ調味料(しょうゆ、砂糖、酒、だし汁)をひと煮立ちさせ、卵でとじて、ごはんにのせる。ごはんには汁があまり染み込まず、ジューシーな旨みを感じられる。車麩でもOK。

すき間を埋めるのに便利で、食べる時にもうれしいチーズキャンディ。

ベランダ菜園の楽しみ⑨

たなかやすこ

今号のテーマ

寄せ植えで楽しむ ミニカリフラワー



ベランダでカリフラワーが栽培できるということ、意外に思うかもしれません。ベランダ栽培に向くのは、少し小ぶりのミニカリフラワー。左写真は美星という品種です。葉に包まれた花蕾(つぼみ)はとても美しく、ビオラやスイートアリッサムなど、丈の低い草花と一緒に寄せ植えにするのがおすすめです。

種まきは7月から8月。直径9センチのポットに4粒ほどまいて、本葉が3、4枚のころまでに数回間引いて1株にして、本葉5、6枚で草花と一緒にプランターに定植します。

収穫は冬の初めですが、苗が小さな時期はまだ暑いので、やわらかい葉が害虫に狙われます。見つけたら即、取り除きましょう。カリフラワーは葉を食べる野菜ではありませんが、葉が大きく立派に育たないと、実も大きくならないのです。



スライスしてポリポリ生食でいただくと、とても美味。写真はピクルス。黄色いほうはカレー味。カリフラワーとカレーは相性抜群です。

苗から育てることも可能です。苗を買ってきたら、なるべくすぐに定植することが大切。種まきも、袋に表示してある時期を守りましょう。気温の変化によって結球する植物なので、タイミングがずれて、葉が育たないうちに気温が下がると、花蕾が育たず失敗につながります。育てる鉢の大きさによって花蕾の大きさは変わりますが、だいたい直径10センチ程度のまあいい美しい球体になったら食べごろ。適期を逃すと形が崩れ味も落ちます。収穫もタイミングが大切です。

cultivation 育ててみよう! ミニカリフラワー

夏に種をまき、晩秋から初冬にかけて収穫できます。支柱を立てたり脇芽を摘んだりといった世話が不要なので、種まきや植え付けのタイミングさえ外さなければ、栽培はさほど難しくありません。

Step 1

ポットに土を入れ、水をやってから種を4粒まきます。水はけの悪い土だと根がうまく育たないので、できるだけ水はけのよい土で。



Step 2

間引きながら育てて1株に。本葉が5、6枚になったら苗の完成です。



Step 3

最終的に草丈は30センチ程度になります。スーパーで売られている姿とは異なり、葉がとても大きい。写真は花蕾がオレンジ色になるオレンジブーケという品種です。

Step 4

プランターに定植します。鉢底石を敷いて培養土を入れ、ビオラなどの草花と寄せ植えにしましょう。草花は土の表面の乾燥を防ぐ役割も果たします。



point!

害虫退治セットをベランダに配備

アブラナ科なので害虫がよくつきます。葉に穴が開いていたら、葉裏にはアブラムシやコナガの幼虫がいるはず。虫の姿はないのに葉が食べられているときは、ヨトウムシが疑われます。ヨトウムシは昼間は土の中にいて、日没後に出てきて活発に活動します。割箸ピンセット、ビニール袋、懐中電灯の害虫退治セットをベランダに置いておくことをおすすめします。見つけたらすぐに捕まえられるので便利です。



唐丹漁港でホタテの耳吊り作業をする人たち。出荷するまでに、ホタテとアワビは5年、ウニは4年かかる。

唐丹湾の海側上空から眺める花露辺地区。奥の山間に見える4階建ての建物が災害公営住宅だ。



花

露辺と書いて「けろべ」と読む。その名の由来はアイヌ語で「おだやかな里」を意味する「ケロツベ」。釜石の市街地から南へ約12キロ、唐丹湾に面した花露辺地区は、その名のとおり、山と海に囲まれたおだやかな集落だ。人口約220人、約70世帯の

ほとんどが漁業に従事し、ワカメやホタテ、ウニやアワビなどの養殖を主な生業としている。朝6時過ぎ、唐丹漁港を訪ねると、7〜8センチほどのホタテ貝の山の前に、地区の人たちが「耳吊り」と呼ぶ、貝の端に穴を開けてテグスを

通す作業の真つ最中だった。皆さん手てきぱき動かしつつも楽しそうにおしゃべりしていて、時折笑い声が響く。これこそが、東日本震災以降、花露辺の人たちが取り戻すべく努力してきた「おだやかな里」の日常の光景だ。

海の近くに 住み続けるために

花露辺地区は東日本震災で14・5メートルの津波に襲われ、約70世帯のうち25世帯の家屋が流失。73隻あった舟は72隻が流された。そのような厳しい状況のなかでも、町内会役員のリーダーシップのもと、持ち前の団結力を発揮し、早い段階で住民合意の復興計画を作成。生業である漁業と住居の再建を早期に実現させたことで注目を集める地域である。

もともと「町内はひとつの家族」という意識を持ち、結束力が強い花露辺地区。避難訓練をほぼ全員参加で定期的に行ってきたこともあり、震災当日も高台にある漁村センターに130人ほどが避難。食糧や燃料を持ち寄り、暖房も明かりも確保されたなかで、温かいおにぎりを食べていたという。

翌朝、津波による惨状が明らかになり愕然としたものの、「自分たちは海から離れては暮らしていないこと」をみんなで確かめ合い、海の近くに住むためにはどうしたらいいのか、何が必要かの話し合いをスタートした。「震災前から過疎化が進む山間地域でもあり、なるべく早く、ここに帰って来られるよ。」ここで以前のように仕事できるよ、という希望を持ってもらいたかったから、

復興の「今」を見に来て！

第7回
釜石市
岩手県

漁師まちの暮らしに合った復興を 早期に実現

UR都市機構は釜石市と平成24(2012)年3月に協力協定を締結し、片岸、鶺住居、花露辺の3地区の復興まちづくりを推進。住民が早期に復興計画を作成した花露辺地区の復興支援事業は、今年2月にすべて完了した。

●「UR PRESS」オンライン版で、パソコンやスマホからドローンで撮影した花露辺の動画がご覧いただけます。



ワカメの養殖をメインとする漁師は、たいてい大きさの異なる舟を2隻持ち、養殖作業用とウニ漁用などで使い分けている。



急ぎました」と振り返るのは、当時の町内会長であり、現在は顧問を務める下村恵寿さん。全体計画、そして住居の再建については下村さん、また生業である漁業関連については、町内会役員であり唐丹漁協の理事も務める大瀬司さんがリーダーとなり、役割を分担しながら住民の意見をまとめ、必要な手配を行っていった。

仮設住宅も 防潮堤も造らない

避難所では、女性陣が毎日30キロのお米を炊いて3度の食事を用意。避難者も手持ち無沙汰にしているわけではなく、町内会の役員が毎日発表するスケジュールに合わせて、協力して集落や海岸の片づけ作業を進めた。「今では笑い話ですが、各家庭の



災害公営住宅。高齢者が多いことから、玄関の外と中それぞれにベンチを置いたり、中の様子がうかがえる半透明のガラス窓を玄関に設置するなどの配慮も行った。



手前が養殖器具や資材の倉庫と、ワカメなどの水産加工施設。奥に見えるのが災害公営住宅。

釜石市へ

岩手県東南部に位置する釜石市は、海と山に囲まれた風光明媚なまち。近代製鉄発祥の地であり、古くから鉄と漁業で栄えてきた。

JR釜石駅までは、東北新幹線の新花巻駅から快速で約1時間40分。花露辺地区のある唐丹町へは、釜石市中心部から車で約20分、三陸鉄道南リアス線で唐丹駅まで約15分。



水産物が自慢
釜石市がある三陸海岸の沖合は、親潮と黒潮がぶつかる、世界三大漁場のひとつといわれる良漁場。定置網漁や養殖業、採貝漁業などが盛んで、鮭やブリ、サバ、ヒラメのほか、ワカメや昆布、ホタテ、ホヤ、アワビなどさまざまな魚介類が味わえる。

◆釜石の観光・物産などの問合せ
釜石観光物産協会 ☎0193・22・5835



Kamishima Data



隣りまちでの仮設住宅生活を経て、災害公営住宅に入居した葛西登さん、孝子さん夫妻。ベランダで野菜づくりも楽しんでいる。

アワビやウニを食べにきてください



左からUR都市機構釜石復興支援事務所所長安藤誉和、花露辺町内会顧問の下村恵寿さん、唐丹漁協理事の大瀬司さん、UR都市機構釜石復興支援事務所市街地整備課主幹 神谷泰彦。下村さんと大瀬さんの同級生コンビが、未来を見据えた復興計画で住民をリードした。

避難所として使うときのことも考え、大勢で作業できるスペースのある台所や和室も完備した。平成25年12月に引き渡されたこの災害公営住宅で暮らす葛西登さんは、ここは本当に快適だと笑みをうかべる。「毎朝、起きてすぐに海が見えて

避難所として使う戸の玄関脇やベランダに漁具を置き、作業できるスペースを確保するなど。また、集合住宅の1階部分、窓から海が見える見通しのよい場所に造られた集居室には、

風の变化も感じられるので、漁に出るか否かの判断もできる。夏は涼しいし、冬は暖かいし、こんな立派な住宅に住めて、本当に幸せだ」
集居室は健康体操など住民の集まりで頻繁に利用されている。

すると年間で1世帯あたりの平均収入は約200万円だが、塩蔵加工して出荷すると600〜800万円になる。塩蔵加工するためには、作業場が不可欠だ。収入の違いも大きい。さらに重要なのは、加工作業は家族みんなで行うので、お年寄りも労働力を提供でき、家族の一員であることが実感できることだと下村さんは言う。

「1日でも早い生業再生の要望を受け、養殖器材や資材の保管施設、水産加工作業用地などのために、低地部を一部先行整備し暫定的に利用できるように協力もしました」と語るのは、UR都市機構釜石復興支援事務所市街地整備課主幹 神谷泰彦。ワカメは生で出荷

は大変だったが、その過程で漁師の団結力がより強まったと大瀬さんは言う。そして震災から3カ月後には、花露辺地区としての復興についての意見をまとめ、岩手県内で最も早く、住民と行政の間でまちづくり計画を合意した。

計画実現のために UR都市機構も尽力

釜石市と平成24年3月に協力協定を結んだUR都市機構は、釜石市・ゼネコンと三位一体となり、花露辺の人々が描いた復興計画の実現のため、災害公営住宅の整備、復興市街地整備を進めてきた。花露辺地区の復興計画は、津波の被害を受けた海に近い低地部を居住禁止区域とし、水産関連の施設や作業用地に利用するというもの。そして盛土して斜面を造成し、海抜16メートル地点に堤防の役目を果たす道路を左右に渡す。住宅は、海抜60メートルの高台、漁村



「花露辺の皆さんは快く受け入れてくれて、仕事しやすかったです。ウニもたくさんごちそうになりました」と、株木建設の末松泰三さん(左)と、臼倉伸昭さん(右)。

漁師の暮らしに合わせた住宅

災害公営住宅の建設に当たってUR都市機構では、漁業従事者の生活スタイルや要望を細かく伺い、生活に合わせた工夫を随所に盛り込んだ。例えば潮水をかぶった軽トラックや合羽、漁具を洗うための水場をエントランス脇

「災害公営住宅も水産加工施設も広場も、使ってもらえてこそ意味があるので、住民の方々に利用されているのを見聞きするとうれしくなりますし、苦労した甲斐があります。花露辺は生業再生と住宅再建をセットで早期に実現できた成功事例です」



世安町団地は8階と11階建てが中心。左から管理連絡員の藤本羊子さん、自治会副会長の坂本朝子さん、会長の山本さん、副会長の福島秀子さん。今回の地震を機に居住者の結束力が強まり、団地がひとつにまとまった。



「自治会や管理連絡員の方を中心に、お住まいの方が協力し助け合う姿が印象的でした」と語るUR都市機構九州支社の団地マネージャー中村直寿。

平成28年熊本地震 復旧支援レポート

専門知識と技術を生かした 迅速な連携プレーで 復旧をサポート



2度にわたり震度7の激しい揺れに襲われ、その後も余震が続く熊本地方。UR都市機構は、4月14日の地震発生直後に災害対策本部を設置し、職員をいち早く現地に派遣。長年培ってきたノウハウを発揮し、復旧活動を支援している。

対応 熊本市内の UR賃貸住宅の 復旧

UR都市機構のUR賃貸住宅で「平成28年熊本地震」の被害があったのは、熊本市内にある健軍団地と世安町団地の2カ所。その2つの団地の現地管理を担当している明和不動産管理の森田健一さんが、UR都市機構の担当者から状況確認の電話を受けたのは、4月14日の夜。最初の地震発生から7分後、帰宅途中の車の中で、まだ地震の興奮覚めやらぬ時だった。「すぐに世安町団地へ向かい、全室を回って逃げ遅れている方、玄関から出られない方がいないかを確認。高齢の方を近くの避難所まで車でピストン輸送しました」

一方、健軍団地では屋上にあつた高置水槽が破損して断水が起きていることが、団地にお住まいの管理連絡員、島津眞由美さんと連絡がついて判明。それらの報告を受けてUR都市機構九州支社では、水道工事に対応する業者、飲料水、そして簡易トイレなどをすぐに手

配。翌15日の朝には、第1陣の派遣職員4名が現地へ向けて出発した。土木や機械工事、構造を専門とし、中越地震や東日本大震災の復興支援にもかかわらず機動力のある精鋭メンバーだ。

福岡から通常の倍以上の5時間かけて現地に到着した職員は、2つの団地を点検して状況を確認。健軍団地では給水配管を工夫して、全戸に直接給水する方法に切り替えることを決めて工事をスタート。また、受水槽に貯まっていた約100トンの水を生活用水として使えるように、集会所近くに共用水栓を設置した。作業が終わったのは夜中の1時だった。

「余震が続くなかでの作業や打ち合わせは大変でしたが、団地にお住まいの方のためにできる限りのことをしました。団地を守るのに必死でした」と、第1陣派遣職員の九州支社住宅経営部ストック技術チーム主幹楠戸淳平と、同じく設備技術チーム主幹添田英彦は振り返る。



健軍団地(5階建て)にお住まいの島津眞由美さんと、現地管理を担当する明和不動産管理の森田健一さん。4月15日以降、森田さんが健軍団地の集会所に常駐し対応してくれたので、居住者は心強かったという。

足を運んでいるUR都市機構九州支社の団地マネージャー中村直寿は、その後もUR都市機構側の窓口として現地の方々と連絡を取り続け、必要な手配を行っている。

対応 被災者への 住戸の提供

UR都市機構では、被災した方へ福岡県内の2つの団地（下大利春日公園）の住宅提供も行ってきている。4月21日にUR福岡営業センターに専用窓口（コールセンター）を開設。入居可能時期や家族構成などを具体的に聞き、被災された方に少しでも条件の合う住戸の紹介に尽力している。



UR福岡営業センターには、これまでに600件を超える問い合わせがあり、46件が契約に結び付いた。

対応 技術支援 メンバーの 派遣

国土交通省からの要請に基づいた被災宅地危険度判定士、被災建築物応急危険度判定士などの専門スタッフの被災地への派遣もUR

「被災された方の気持ちに寄り添うことを心がけ、言葉遣いに気を配りながら、相手の状況や希望を確認しています」とコールセンター担当の村岡雪子さんは、「何度も来ていただくのは難しいので、罹災証明書や住民票などの必要書類の提出時期についても柔軟に対応。事務処理もスタッフが連携して迅速に行いました」と振り返る。その結果、問い合わせから最短期間で鍵を渡すスピード契約が可能に。半年間家賃が無料であることに加え、寝具などの無償提供も被災された方に喜ばれている。また、応急仮設住宅としてお住まいいただけるUR賃貸住宅の提供を健軍団地で行っている。

都市機構はいち早く実施。これまでに約80名を派遣した。宅地や建物の実際の危険度を判定する役目だけでなく、各自治体から派遣された判定士の派遣先の決定や、現場の情報を収集する取りまとめ役もUR都市機構の職員が担当。東日本大震災の復興支援をはじめ、現場で培った多様なノウハウ、専門知識を熊本でも発揮している。早期復旧を目指して、迅速に、柔軟に対応するUR都市機構の職員の姿は使命感にあふれている。



浴室の天井換気扇のダクト接続や天井裏の断熱材の状況、配線の保護などまで細かくチェックする姿に無駄な動きはなく、緊張感が漂っている。



仮設住宅の建設にもUR都市機構の職員が協力している。嘉島町近隣公園に完成した仮設住宅で、受け渡し前の点検を行う。

そして、ほっとする間もなく未明に再び震度7の激しい揺れ。「揺れ始めてすぐに停電になりました。ベッドの上だったのでトラップリン状態。真っ暗な部屋で、バラバラと家具が倒れるのをサラウンドで感じました」と振り返るのは世安町団地の自治会長の山本さん。横揺れは10分近く続き、ある家では電子レンジが玄関まで吹っ飛び、ある家では冷蔵庫をはじめあらゆる家電・家具が倒れた。その後、自治会役員や居住者が協力して1軒ずつ居住者の安否を確認。棚やタンスが倒れて動けない人、玄関ドアが開かず閉じ込められている人を救出して回った。UR都市機構は、集会所や空き室を避難所として開放した。「飲料水や支援物資の配布、簡易

UR都市機構からのお知らせ

SHOP

東北3県から「おいしい・楽しい」を届ける通販サイト
「がんばる東北しょっぶ」にお立ち寄りください！

岩手、宮城、福島県の東北3県にはおいしい海の幸、山の幸がたくさんあります。東日本大震災で大きな被害を受けたこれらの地域では加工所などの再建が進み、より多くの人々に東北の味を知っていただきたいと頑張る人たちがたくさんいます。

東北3県22の自治体で復興事業に取り組むUR都市機構は、東北の商店や事業所を応援しようと、国内最大の通販サイト「楽天市場」にオープンした「がんばる東北しょっぶ」に協賛しています。

福島県いわき市の300%（満足度）のトマトジュースや、宮城県東松島の献上海苔として名高い海苔。岩手県山田町の豚丼専用のたれや刺身醤油など、「がんばる東北しょっぶ」には、東北3県の実産品から加工食品、麺、菓子まで幅広くそろっています。この夏、新商品も続々と登場します。

ここで買い物をすることが、東北の皆さんの励みにもなります。ぜひ「がんばる東北しょっぶ」をのぞいてみてください。

<http://www.rakuten.ne.jp/gold/ganbarutohoku-shop/>

「**がんばる東北しょっぶ**」で **検索**



金華鯖ずし
三陸沖で獲れる幻のサバ、金華鯖で作る棒ずし。



献上海苔
東松島市「のり工房矢本」の、漁師のお嫁さんたちが作った高品質の海苔。

MOVIE

From Editors

『海よりもまだ深く』、『団地』、そして仏からは『アスファルト』。今年は団地を舞台にした映画の公開が続いています。個性的な監督たちが描く作品はどれも必見です。では、リアルな世界は？ 各方面から団地への注目が集まるなか、今号では団地の未来を取材しました。既存の建物を有効利用しながら、ハードとソフトの改修はどうすべきか？ 団地に農場があったら？ 大きな夢を持つ若者が団地に住んだら？ 未来に向けて、どのような住み方を提案できるかが試されています。多様化のなかで、答えはひとつではない。皆さんとのコミュニケーションがますます重要になります。

(UR都市機構・広報担当K)

次号のお知らせ

「UR PRESS」47号は
2016年10月末発行予定です。
お楽しみに！

フランスから、団地が舞台の映画がやってきます

フランス、郊外のとある団地。車いす生活を送るハメになった冴えない中年男と訳アリ気な夜勤の看護師。鍵っ子のティーンエイジャーと落ちぶれた女優。不時着したNASAの宇宙飛行士と移民の老婦人。寂れた団地を舞台に孤独を抱えた6人の男女に予期せぬ出逢いが訪れる――。

イザベル・ユベール、マイケル・ピットら豪華キャストで、思いやりと品の良いユーモアに満ちた詩的な世界をつくりあげた映画『アスファルト』が、9月3日よりヒューマントラストシネマ有楽町地でロードショー、全国順次公開。フランス映画の不思議な団地の世界に注目です。

●問合せ ミモザフィルムズ ☎03-5380-4776

©2015 La Camera Deluxe - Maje Productions - Single Man Productions - Jack Stern Productions - Emotions Films UK - Movie Pictures - Film Factory



プレゼント付きクロスワードパズル

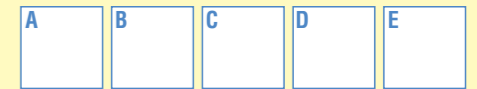
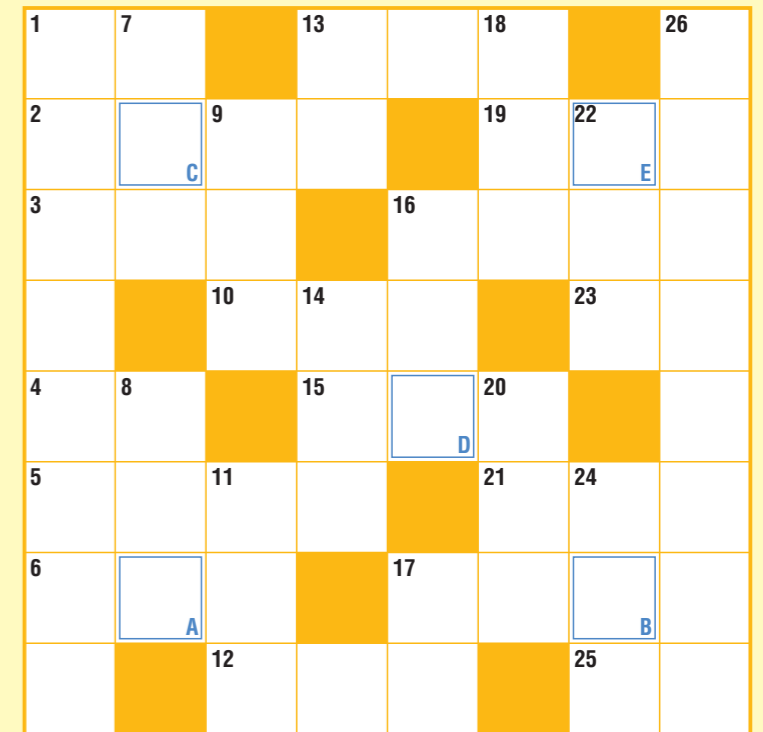
パズル制作 ニコリ

ヨコのカギ

- 1 難題を押しつけられちゃった
- 2 この服、サイズはどうか？ としてみます
- 3 日が暮れてから立ちこめる
- 4 高知県の昔の名前
- 5 星—— タロット—— 師
- 6 川の中に学校がある(?)小さな魚
- 10 曲がって生えた親知らずが痛むので、——しました
- 12 1——は約1.6キロメートル
- 13 ——風呂に入って汗を流すのが好きです
- 15 メロ—— 大河——
- 16 歌詞は口にせずフントフフフンという感じ
- 17 ここで洗濯物を干す家も多いですね
- 19 おのれのこと。——勝手
- 21 俳人が作品を披露し合う
- 23 タンスとかテーブルとかイスとか
- 25 「地階」の意味で使われるアルファベット

タテのカギ

- 1 空気は——なので、そこにあるのに目に見えません
- 7 昔の口約束を——に守ってくれる義理堅い人
- 8 野菜をとれるメニュー
- 9 肌の露出が多くて目の——に困る服装だ
- 11 ——割れ ——入り 遊び——
- 13 牧場で馬や牛の脱走を食い止めているもの
- 14 あつまり
- 16 木偏に主と書く、大事な材
- 17 ウェディング—— 発車——
- 18 おさな—— ——の店
- 20 そば殻を詰めたものもあります
- 22 食—— 児童—— ——財 ——勲章
- 24 冷暖房水道ガス——の部屋
- 26 大きな風みたいなのにぶら下がって飛ぶスポーツ



プレゼント&応募方法

クロスワードパズルを解いて、プレゼントにご応募ください。

PRESENT 1
熊本限定販売
球磨焼酎「よけまん」
3名様
熊本の良質な水と米にこだわってつくられた本格米焼酎(25度、720ml)。「よけまん」とは方言で、おやつ付きの休憩のこと。熊本限定販売です。



PRESENT 2
釜石のサヴァ缶
3名様
東日本大震災の復興支援で誕生した、国産サバのオリーブオイル漬け。ヘルシーな味わいに加え、「Ça va?」(フランス語で「元気?」の意味)とサバ(鯖)をかけたネーミングとオシャレなパッケージも人気。レモンバジル味と3缶セットで。



PRESENT 3
『ショートショート診療所』
田丸雅智著
5名様
新世代ショートショートの旗手として精力的に活動する田丸雅智氏の最新刊は「医」がテーマ。映画「団地」とのコラボ作品も収録。キノブックス刊。

PRESENT 4
『団地のゆるさが都市を変える。』
10名様
本誌9ページで紹介している、ルネッサンスin洋光台の取り組みから誕生した1冊です。

45号の解答



●応募方法

本誌付属の応募はがきに、クロスワードパズルの答えと希望プレゼント番号、必要事項をご記入の上、郵送してください。

●応募締め切り

2016年10月31日(当日消印有効)

当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

*焼酎のご応募は20歳以上の方に限りさせていただきます。